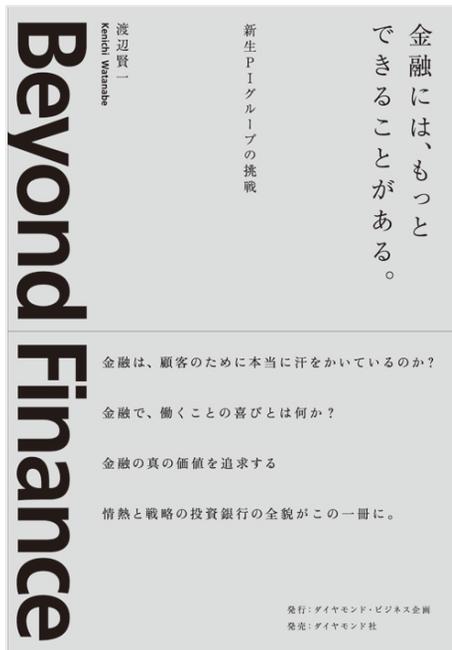


情熱と戦略の投資銀行

新生PIグループの軌跡と挑戦がこの一冊に！

「投資銀行は、顧客のために汗をかいているのか？」 金融の殻を打ち破る新生PIグループの闘いとは？



『金融には、もっと
 できることがある。』

新生PIグループの挑戦

- ◆ 渡辺賢一・著
- ◆ ISBN978-4-478-08374-1
- ◆ 四六判-並製
- ◆ 1,500円（税別）
- ◆ 発行：ダイヤモンド・ビジネス企画
- ◆ 発売：ダイヤモンド社

「和魂洋才」のユニークなビジネスモデル

2013年7月1日。

第二次安倍晋三内閣の発足から半年以上が経過し、黒田東彦日銀総裁による「異次元の金融緩和」(量的・質的金融緩和)で円相場1ドル100円台目前まで迫っていたこの日、東京・大手町に新しい「日の丸」投資銀行が誕生した。

その名は、「新生プリンシパルインベストメンツ(PI)グループ」。

ゴールドマンサックスやモルガンスタンレーといった外資系の投資銀行とも、日本のメガバンクや大手証券会社などが提供してきた投資銀行業務ともまったく異なる、独自のサービスを提供する投資銀行。そのルーツは、旧長銀出身のサムライバンカー。

金融の真の価値を追求する

商品のコモディティ化を脱却し、官僚的になりがちな金融機関とも一線を画した革新的な投資銀行が新生PIグループである。“顧客”としているのは主に、一般的な金融サービスの範疇から逸脱したベンチャーや中堅・中小企業。そうした企業に対し、卓越したアイデアと豊富な経験により投融資を実行し、変化の激しい業界で10年以上収益を上げてきた。「金融で、働くことの喜びとは何か」、「金融は、誰のために存在するのか」、「金融に求められている、本当の価値は何か」——自問自答を繰り返しながら、従来の金融の殻を打ち破る。金融のさらなる可能性を探るそのエネルギーは、業界に新たな旋風を巻き起こす。

Contents

- はじめに
- 序章 金融には、もっとできることがある。
- 第1章 新生PIグループは、なぜ誕生したのか？
- 第2章 「一に人、二に人、三に人～新生PIグループの強さの秘密」
- 第3章 新生企業投資のベンチャー投資
- 第4章 新生企業投資のバイアウト投資
- 終章 新生PIグループのこれから

著者：渡辺賢一(わたなべ・けんいち)

1984年、駒澤大学文学部卒業、編集プロダクションにて書籍・雑誌・カタログ等の編集・執筆に従事。96年より、香港の日本語新聞『香港ポスト』の記者として取材・執筆、97年より00年まで同紙編集長を務める。その後、時事通信社香港支局において3年間現地支局員として香港・中国の政治・経済ニュースを取材・執筆した後、05年よりフリーランスライターとして独立、現在に至る。

【この件に関するお問い合わせ先】

E-mail: spi_info@shinsei-pi.com 担当：新生プリンシパルインベストメンツ(株) コミュニケーションズオフィサー